



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

無線通信で職員負担の見える化 〜回りハ病棟のビフォー・アフター〜

コープリハビリテーション病院 院長 鍛本真一郎

【before】

回りハ病棟（回復期リハビリテーション病棟）は建物の3階です。入院と退院が多いときはほぼ毎日です。担当看護師は1階受付と時間差で対応します。入院中は1階からの連絡で、コロナでご面会できないご家族と洗濯物などの受け渡しだけでなく病状説明を毎日何度もします。2階のリハビリフロアには3階から検査や院外受診の知らせが毎日届きます。これも調整は分刻みです。



3フロアにまたがる仕事をこなす皆さん

【一瞬で情報共有】

このストレス極まりない現場を楽にしてくれたのが無線通信（以下、インカム）です。参考にしたのはいち早く導入していた「ご近所」水島中央病院です。

機器の特性からワンフロアでしか使えませんが、試しに「中継機」を窓辺に設置したところ、1階から3階まで通話できました。患者様対応に応援が必要なときにも、インカムは瞬時に人集めをしてくれます。

【効率と相互理解】

医師もインカムを装着しています。これまで見えなかった離れた病室の出来事、階下のリハビリフロア、そして受付の発信を瞬時に把握できます。まるで同じ空間にいるようです。インカムは必須のインフラになりました。

当建物は、回りハ病棟の他に医療療養病棟、老健あかねと総数210のベッドがあります。

各フロアで機能が違うので通信チャンネルを分けてインカム拡大の予定です。

通いたくなる美味しい食事 〜老健通所リハビリのメリット〜

老健あかね通所リハビリテーションでは、お昼ご飯の提供をさせていただいています。担当の管理栄養士により、栄養面に気配りがされており、



午前と午後のリハビリを区切ってランチタイム

また、正月・節分など季節に合わせた献立が出てきます。病院食と言ったら、薄味のイメージが強いですが、あかね通所リハビリテーションの食事は、塩分は控えています。が、しっかりと味付けがされており「ここのご飯は、味付けが良くおいしい」「家ではあまり食べられないけど、ここのご飯は、たくさん食べられる」「家では食べない様な献立があつて楽しい」などのご意見をいただきました。

また、利用者それぞれが安心して食事が出来る形態に調整しています。苦手な

岡山QOLネットワーク

開催準備に参加

皆様QOL（生活の質）という言葉をご存知でしょうか？地域の方に限らず医療関係者でも生活の質は聞いていても詳細は知らないのが実情だと思えます。生活の質を良くしたいと思うけれど、何をどうしたら良いか、何をどうしたら良いか、はつきり示めせるものは少ないです。

そこで、倉敷中央病院の田村医師が発起人となり、QOLに興味がある様々な職種の医療関係者8名が中心メン

バーとなり、岡山QOLネットワークを発起しました。第1回の勉強会は昨年12月に開催して、QOLに関する歴史や評価方法などについて勉強しました。

また、昨年より田村医師とも協力して短時間通所リハビリ利用者様にQOLの変化についての研究を8名の方に実施しています。今後、研究で得た知識や経験はネット



利用者さんの希望は何か？でゴールを考えます

（コープリハビリテーション病院 短時間通所リハビリテーション 責任者 岡野泰樹）

献立やアレルギーや病状により摂取できない食材は、替わりの献立で対応しています。食事は、日常の中で大きな楽しみです。満足できる昼食の提供が、通所リハビリテーションに通う楽しみの一つになればと思っています。
（老健あかね 通所リハビリテーション 責任者 山本武範）



栄養科の手作りです、外注してません

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

5年目を迎えて

移転から5年を迎えた 回復期リハビリ病棟の 様子

私は3階の回復期リハビリ病棟で勤務をして10年が過ぎ、新築移転にも関わり、5年を迎えました。各病棟にはカラー色があり、3階は「オレンジ」です。フロアーにはいくつかのガラスコーナーがあり憩いの場所になっています。患者様同士が声を掛け合い励まし合ったり、お茶会をした

り、時にはリハビリをしたりと様々です。

現在では、自宅リハや個浴介護指導の実施により、患者様やご家族様が安心して在宅での生活がイメージできるように努めています。これからも介護福祉士として、病棟カラーのオレンジのように暖かい雰囲気や患者様やご家族様の「思い」に寄り添えるケアサポートを心がけていきます。(回復期リハビリ病棟 介護福祉士 出口さおり)



「環境も動機付けアプローチ」と語る出口さん

移転5年目をむかえて

老健あかねの7階は、2021年まで認知症専門棟として顔馴染みの関係でのケアの充実を図り、6階は自宅と老健のローテーション、シヨーステイ等より在宅生活支援

の機能を強化し、各々の役割を担ってきました。在宅生活を支援する中で、2018年からは超強化型在宅復帰支援施設として転換し、多職種でのより個別性を重視したケアプランを実践してきました。目まぐるしく変化する制度に翻弄されながら、追い打ちをかけるようなコロナ禍で、ご家族だけでなく地域の皆さんと直接触れ合う機会を入所者さんが持たなくなりましたが、感染対策を施しながら、密を避けての行事開催。小学生在が届けてくださった手作りの福笑いを入所者みなさんに楽しんで戴くなど工夫しながら交流をはかっています。



病院とご自宅の架け橋に医療行為は欠かせない

また、医療的ケアのニーズも年々増えており看

昨年、創志学園高等学校看護科にインターンシップの案内をしたところ、7名の参加申し込みがあり12月に開催しました。コロナの影響で病院見学も制限される中だからこそ、学生さんたちは目的を持って参加されていたように感じました。

インターンシップ

(創志学園高等学校)

この学生さんが看護師になるのは数年先ですが、今回の病院見学を通して将来の「やりたい看護」を考えた時に当院が選択枝のひとつになればいいなと思っています。



創志学園高等学校の生徒さん達と職員

新入職員 紹介

看護師に求められるスキルも拡大してきています。今後も多様な役割を担える老健の看護師として信頼して頂けるよう頑張りたいと思います。(老健あかね 看護主任 河原栄子)



コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 中尾人美



老健あかね 通所リハビリテーション介護福祉士 藤原聖子



コープリハビリテーション病院 事務課 事務 土居えり



コープリハビリテーション病院 4階病棟 介護士 高原朱里



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00～16:30
土曜日 9:00～12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

診療表							
コープリハビリテーション病院				老健あかね			
外来受付時間 8:30～12:00				[086-446-6541]			
	外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビ	短期集中 健幸アップ 教室	訪問リハビ	通所リハビ
診療時間	午前 9:00～ 12:30	14:30 ～ 15:00	午後	9:00 ～ 16:50	9:30 ～ 11:00		9:00 ～ 16:00
月				○		○	○
火	渡辺	○ (予約制)	山崎 (予約制)	○		○	○
水	飯塚			○		○	○
木	太田		山崎 (予約制)	○		○	○
金	小田			○		○	○
土						○	○

医療福祉相談・連携室			
相談 受付時間	平日	9:00～12:00	13:30～16:30
	土曜日	9:00～12:00	
	日・祝日	休み	

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。